

2010年07月1日

会 社 名 Michael Jackson Asian Rights 株式会社

問 合 せ 先 info2@mja-rights.com

TEL : 03-5687-2288

2010年6月25日 The Associated Press による海外メディア報道に関するコメント

<記事 URL>

<http://abcnews.go.com/Technology/wireStory?id=11016466>

http://www.mjfanclub.net/home/index.php?option=com_content&view=article&id=3

[888:jackson-estate-contests-2nd-japanese-claim&catid=85:latest-news&Itemid=82](http://www.mjfanclub.net/home/index.php?option=com_content&view=article&id=3)

マイケル・ジャクソン・エステート社に対する AP 通信社の取材に関する記事内容についての弊社見解は下記の通りです。

1. 現時点ではマイケル・ジャクソン・エステート社と弊社は係争状態にありません。
2. マイケル・ジャクソン・エステート社の弁護士 Zia Modabber 氏へ、弊社副社長のリチャード・リョウスケ・マツウラが商品化権をエステートに買い戻すよう提案したと記載されている件に関しては事実無根であります。
更に、弊社 Michael Jackson Asian Rights 株式会社の設立日は 2010 年 6 月 18 日であり、AP 通信社に対して Zia Modabber 氏が述べたと記載されている「今月初旬、リチャード・リョウスケ・マツウラと名乗る、東京を拠点としたマイケル・ジャクソン・アジア・ライツ社の副社長から連絡を受けたという」との内容に関して、6 月上旬の時点では弊社社名さえ決定していなかった段階であり、大きな矛盾があります。
3. マイケル・ジャクソン・エステート社の弁護士 Zia Modabber 氏が述べたと記載されている「彼の父リョウスケ・マツウラがジャクソンと 1998 年に交わした取引に起因している可能性がある。当時 2 人はビジネスプランを開発中であった。しかし、最終的な契約は完成しなかったと Zia Modabber 氏は言う。また彼は、その未完成の取引は、10 年限定の権利を与えることを意図したもので、テーマパーク、ホテル、トイストアといったプロジェクトのみをカバーするものであったと語った」とあるが、この契約とは、1998 年 6 月に締結されたマイケルジャクソン・ジャパン株式会社とリョウスケ・

マツウラ”氏、マイケル・ジャクソンとの間の基本合意書作成時のことであり、この基本合意書を作成した際にアドバイスを行っていた弁護士が Zia Modabber 氏になります。

また、弁護士 Zia Modabber 氏は、マイケル・ジャクソンジャパン株式会社設立記者会見及びその契約の調印式には、立ち会っておりません。

よって、「マイケルジャクソン・ジャパン株式会社」「リョウスケ・マツウラ”氏「マイケル・ジャクソン」との間で締結された契約に関しては、何も知り得ない立場の人間であります。

すなわち、Zia Modabber 氏自身がマイケルジャクソン・ジャパン株式会社と“リョウスケ・マツウラ”氏を混同しており、事実関係を歪曲した形で記事として発信されている状況です。

更に、1998年7月下旬、東京都内のホテルオークラにて、「“リョウスケ・マツウラ（松浦良右＝朝堂院大覚）”とマイケル・ジャクソン本人との間で取り交わされた25年間の契約「日本及びアジア圏におけるマイケル・ジャクソンの名前を使用しビジネスを実施・運営・管理する全権利“」に関する、もちろん知り得ない立場の人間であります。

弊社におきましては、マイケル・ジャクソン・エステートへの誠実な権利の主張は続けるものの、弊社からの係争などを行う予定は今のところ立てておりません。

以上